

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 航空宇宙工学コース

准教授

中野 正勝

取組状況	
教育	<p>1. 授業科目の位置づけや関連性のイメージ化 各授業の実施に先立って、その科目が何に役立ち、どの科目と関連するかの説明を、具体例を通して実施することで、その科目の履修開始段階における学生のモチベーション向上を図った。</p> <p>2. 卒研や特研における他大学学生との研究交換 共同研究先との打ち合わせに参加して、同世代の学生の取り組み姿勢を見せることで、研究に自律して積極的に取り組む重要性を自覚できる機会を与えた。</p> <p>3. 4年生のゼミナール、専攻科EDを中心にエンジニアリングデザイン教育を導入 試行的に実施していたエンジニアリングデザイン教育を完全実施し、研究室にある装置を思いがけない方法で使用するというテーマで計画立案から試作までを行うことで、フリーズドライの原理発見と製作装置という期待以上の成果を上げることができた。</p>
研究	<p>1. 論文を執筆 Nakano, M. and Koizumi, H.: Study on Variation and Movement of Extraction-Ion Beam by Grid Wear in Miniature Ion Engines, Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan, Vo.14, No.ists30, Pb_177-Pb_181. 他6件</p> <p>2. 学会発表 中野正勝, 山本直嗣, 大川恭志, 船木一幸, On-Off制御時のイオンビームの過渡シミュレーション, 平成28年度宇宙輸送シンポジウム, JAXA 宇宙科学研究所, 2017/1/20 他 8件</p> <p>3. 外部資金 科研費: 東京大学、横浜国立大学 JAXA戦略的開発研究費: 九州大学、JAXA 共同研究: Astroscale、東京大学</p>
社会貢献	<p>1. 出前授業 世田谷区立桜岡中学校で出前授業を行い、ロケットや宇宙探査機を題材とすることで中学生の理科教育と進路指導の手助けをした。</p> <p>2. 体験入学 ペットボトルロケットを題材とした中学生向けのものづくり体験講座を開いた。</p> <p>3. 査読等 国内外の学術誌で5本の査読を行った。</p>